

2024年度事業報告

法人名 特定非営利活動法人 ゆめ風基金

事業期間 2024年1月1日～2024年12月31日

2024年度は1月1日に能登半島で地震が発生し、直後からゆめ風基金は支援に奔走しました。正月から被災をした方たちには心よりお見舞いを申し上げます。この能登半島地震は福祉施設の職員も数多く被災し、輪島や珠洲では職員が地元を離れ離職してしまうケースが続出しました。住宅がないという理由から他からの職員の補充ができず、今なお職員不足の中で運営しています。同様に障害者も被災地から離れてしまっているため、利用が減り、能登半島の福祉事業所は収入が減っている状態が続いています。

さらに2024年9月に豪雨が被災地を襲い、地震のみならずこの豪雨被害でまた被災した人たちも多くいます。ゆめ風基金では地震と豪雨の2重の被害にあった人たちへお見舞金を出すことを決定し160人ほどの方にお見舞金をお渡しすることができました(2024年中は86件で残りは2025年度)。

海外においては2023年、イスラエルによるガザへの大規模爆撃が勃発し、2024年ゆめ風基金では被害にあった障害者に2度にわたる支援を行いました。また台湾花蓮地震やチェンマイ豪雨にも支援を行いました。国内のみならず海外においても災害が続いている状況です。

このように2024年はゆめ風基金としては能登半島地震支援に追われながら、海外の災害等にも支援を行う忙しい日々を過ごしました。

2024年9月に前代表理事を務められた牧口一二さんが亡くなり、河野秀忠さんを含めゆめ風基金の創設に深く関わった方お二人がいなくなつたことがすごく残念でなりません。ゆめ風基金は2025年に設立30年を迎えるため、2024年6月より準備を進めている段階でした。

寄付金については能登半島地震が起きたことで7600万円あまりのご寄付をいただきました。(2023年3055万8259円、2022年・4448万2103円、2021年・6437万4758円)。また2024年はカードを利用した寄付者が延べ800件を超え飛躍的に多くなりました(2023年120件)。

寄付をしてくださった方の人数は3246人となっています(2023年1875人、2022年2088人、2021年2285人)。

以下2024年度の具体的活動をご報告します。

I. 被災障害者救援事業

2024年度救援金 総額 67,025,042 円

① 能登半島地震及び能登半島豪雨救援金

2024年1月1日に発生した能登半島地震を受けて、翌日より事務局では休みを返上して情報収集などにあたり、金沢市にあるゆめ風ネットの会員団体ひまわり教室に依頼をして物資支援を開始しました、そのほか金沢市内で支援にあたれる団体や現地で活動している団体などと連携を取り9月ごろまでは毎週WEBを利用した能登半島地震障害者支援会議を行いました。

また事務局員も積極的に能登を訪れ被災団体の聞き取りなどを行い、支援できる内容説明をしました。当初は救援物資、被災した物品の買いなおしなどが中心だった支援も、壊れたグループホームの住み替えに伴う改修費用や建築中の児童デイサービスの修理など多くの救援金を必要とする支援に変化していきました。

そのような中9月に能登豪雨が発生し、被災した人たちがさらなる被災を被る事態となってしまいました。ゆめ風基金では2重の被災をした障害者世帯に1世帯10万円のお見舞金をお渡しすることを決め、行政や地元団体などと調整を進めました。多くの関係団体にご協力をいただくことで2024年は86件のお見舞金をお配りすることができました。

行政的にもDWAT(災害派遣福祉チーム)が全国から派遣されたこと、被災地のライフラインがしばらく回復しないことから輪島市や珠洲市などを離れ金沢市に広域避難が行われ2時避難所となるホテルへのマッチングのため1.5次避難所が開設されたこと、社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣ということで、全国の福祉施設の職員が能登の施設に入り込んだこと、被災高齢者等把握事業を国から石川県が受け、被災した自治体に対して全国から能登に応援に入ったことなど、これまでにない様々な制度が実施されました。

しかしこの制度にも課題が残り、期待された成果が出たとは言えません。奥能登では震災以来福祉に従事する職員が退職を続け、代わりとなる職員が集まらない状態です。

今年度も様々な支援が必要とされる事態が予想されるため、引き続き能登の支援を進めていきます。

救援金総額 63,259,140 円、詳しい救援金先は以下の通りです。

no.	支払先	所在地	用 途	救援金
1	ひまわり教室	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥500,000
2	ひまわり教室	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥1,000,000
3	ひまわり教室	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥1,000,000
4	NPO 法人石川バリアフリー ツアーセンター	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥3,901,150
5	ひまわり教室	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥500,000
6	児童ホームあだぶと	石川県鳳珠郡 穴水町	トイレ改修工事費	¥62,000
7	NPO 法人あすなろ ふたばぱいんの会	石川県輪島市	パソコン、コピー機購入費	¥1,610,400

8	ひまわり教室	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥500,000
9	社会福祉法人礎会 自立支援センターみづほ	石川県鳳珠郡	施設設備品購入費（食器）	¥396,214
10	NPO 法人七尾鹿島手をつなぐ育成会ほうぶ子どもの家	石川県七尾市	施設設備品購入費（レンジ、DVD プレーヤーなど）	¥419,150
11	一般社団法人ともえ	石川県七尾市	福祉避難所兼障がい者居住支援施設建設費用	¥5,000,000
12	合同会社ぱぱら	石川県七尾市	デイサービス建物損壊部分 補修工事費	¥5,940,000
13	NPO 法人スペース B e	新潟県新潟市	建物耐震検査費用	¥1,610,000
14	NPO 法人夢かぼちゃ	石川県輪島市	建物損壊部分補修工事費と施設設備品購入費（コーヒーメーカー）	¥572,800
15	社会福祉法人野の花福祉会 ゆうの丘	石川市七尾市	施設設備品購入費（空き缶プレス機） ※きょうされん、ヤマト財団と三者で	¥722,500
16	NPO 法人石川バリアフリー ツアーセンター	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥632,581
17	日本障害者フォーラム	東京都新宿区	支援ボランティア拠点の維持管理費 7月～3月分	¥4,500,000
18	NPO 法人七尾鹿島手をつなぐ育成会ほうぶ子どもの家	石川県七尾市	被災障害者受け入れのための施設改修費（キッチン、バス）	¥2,821,036
19	NPO 法人夢かぼちゃ	石川県輪島市	送迎車両購入費と建物損壊部分の 追加補修工事費	¥2,868,010
20	ひまわり教室	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥500,000
21	NPO 法人いきいき	石川県鳳珠郡穴水町	災害による給付金減少に伴う人件費補填	¥3,000,000
22	一般社団法人つながり グループホーム すまいる	石川県羽咋市	グループホーム施設改修費	¥7,000,000
23	ひまわり教室	石川県金沢市	救援活動費（能登半島地震）	¥300,000
24	一般社団法人ともえ	石川県七尾市	障害者個人へのお見舞金（1人分）	¥100,000
25	社会福祉法人すず椿	石川県珠洲市	障害者個人へのお見舞金（2人分）	¥200,000
26	社会福祉法人弘和会 一互一笑	石川県輪島市	障害者個人へのお見舞金（17人分）	¥1,700,000

27	NPO 法人地域支援センター ポレポレ	石川県金沢市	障害者個人へのお見舞金（2人分）	¥200,000
28	NPO 法人夢かぼちゃ	石川県輪島市	職員に対する休業補償の一部費用	¥300,000
29	NPO 法人夢かぼちゃ	石川県輪島市	10月分の移送支援費用	¥108,224
30	NPO 法人夢かぼちゃ	石川県輪島市	障害者個人へのお見舞金（3人分）	¥300,000
31	社会福祉法人鳥越福祉会	石川県珠洲市	障害者個人へのお見舞金（1人分）	¥100,000
32	NPO 法人あすなろふたば ぱいんの会	石川県輪島市	障害者個人へのお見舞金（43人分）	¥4,300,000
33	NPO 法人地域支援センター ポレポレ	石川県金沢市	障害者個人へのお見舞金（4人分）	¥400,000
34	社会福祉法人日本盲人福祉 委員会	東京都新宿区	障害者個人へのお見舞金（9人分）	¥900,000
35	NPO 法人石川バリアフリー ツアーセンター	石川県金沢市	障害者個人へのお見舞金（5人分）	¥500,000
36	NPO 法人夢かぼちゃ	石川県輪島市	11月分の移送支援費用	¥143,920
37	NPO 法人夢かぼちゃ	石川県輪島市	障害者個人へのお見舞金（1人分）	¥100,000
38	NPO 法人千草の舎	新潟県新潟市	移転に伴う建物の改修工事費	¥8,550,000
39	社会福祉法人日本盲人福祉 委員会	東京都新宿区	個人見舞金振込手数料	¥1,155
			合 計	¥63,259,140

②パレスチナの障害者への支援 支援総額 290 万円

DPI 日本会議を通じて特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンから、イスラエルによるガザへの大規模爆撃により被害を受けている障害者を支援をしたいとの要請がありました。自然災害ではありませんがゆめ風基金では人的災害であると認定し、180 万円の支援をすることに3月に決めました。爆撃が続くなくてDPI として2度目の支援が必要だということカンパを募りましたが、寄付額があまり集まらなかったことを受け、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンとゆめ風とで相談し、第1回の配布の様子や報告などをWEBで行うこととし、広く寄付を集めることとしました。DPI が募った寄付額にゆめ風基金が上乗せすることで第2回の支援として110 万円の支援を行いました。

③2024 年 チェンマイ豪雨（タイ） 支援額 30 万円

NPO 法人ヒーリングファミリー財団よりタイのチェンマイ地域にて豪雨により障害者作業所が被災して困っているので支援をしたいと申請がありました。

海外での被害ですが具体的な被害情報が届いたため、30 万円の支援を行うこととしました。

④2024年4月台湾花蓮地震 支援金額 565,902円

台湾では1999年にも大きな地震が起き、ゆめ風基金では直接被災地を訪れ調査を行い200万円の支援を行ったことがあります。その台湾で今回も大きな地震があったということで、その時に同行いただいた現地とつながりのある方を通じて連絡を取り合った結果、1か所の障害者拠点がパソコン等の備品に損傷を受けていることが判明し支援をすることにしました。

ただ以前は複数の拠点に被害があったことから直接訪問し手渡したのですが、今回は現地の障害者団体に直接送金することとしました。ゆめ風基金として海外への直接送金は初めてあることと、最近は海外送金にいろいろな規制がかかっていて送金が難しかったのですが、金融機関を通じた送金ではなく、海外送金サービスを利用して現地に届けることができました。

2. 障害者防災活動支援事業

(1) 講演活動・ワークショップ

2024年度は39件の講演を行いました。対面形式の講演がほとんどですが、WEBでの講演も一部あります。(2019年61件 2020年17件、2021年21件、2022年23件 2023年28件)

●講演先一覧

- 1 1月7日 精神障害者を支える会「げんき」の会 岸和田市
- 2 1月20日 茨木市役所
- 3 1月26日 宮崎市自立支援協議会 ZOOM開催
- 4 1月27日 京都市身体障害者団体連合会
- 5 2月3日 自立生活支援センター富山
- 6 2月9日 沖縄市社会福協議会
- 7 2月14日 檜原市・高取町・明日香村地域生活支援協議会
- 8 2月16日 神奈川ハーネスの会 ZOOM開催
- 9 2月27日 沖縄県身体障害者協会
- 10 3月2日 摂津市役所
- 11 3月14日 京田辺市健康福祉部
- 12 3月23日 大阪ボランティア協会 大阪市
- 13 4月18日 此花区介護保険部会 大阪市
- 14 4月22日 CIL だんない 滋賀県長浜市
- 15 5月29日 CIL いわき ZOOM開催
- 16 6月2日 明治国際医療大学 京都市
- 17 6月7日 世界防災フォーラム(対象は大阪工業大学学生)
- 18 6月22日 奈良県網膜色素変性症協会 ZOOM開催
- 19 6月23日 京都ダウン症児を育てる親の会
- 20 7月13日 障害者市民問題啓発研究部会 箕面市
- 21 7月17日 ビッグアイ 堺市
- 22 8月24日 あかつき福祉会 箕面市
- 23 9月13日 産経新聞厚生文化事業団 池田市
- 24 9月14日 共同連 大阪市
- 25 9月7・23日 京都聴覚言語障害者福祉協会
- 26 9月17日 東住吉区障がい者基幹相談支援センター
- 27 9月19日 沖縄市社会福祉協議会
- 28 9月21日 和歌山県盲ろう支援学校 PTA連合会
- 29 9月25日 精神障害者を支える会「げんき」の会 岸和田市

- 30 10月10日 アクセス関西ネットワーク 京都市
- 31 10月15日 此花区居宅支援連絡会 大阪市
- 32 11月2日 NPOふくでっく 大阪市
- 33 11月8日 山形県社会就労センター協議会 ZOOM開催
- 34 11月17日 大阪JRAT ZOOM開催
- 35 12月4日 広島県立沼隈特別支援学校
- 36 12月9日 いのちと絆をつなぐ会津軽アズマルシェ 青森市
- 37 12月10日 就労移行支援事業所ラ・ポルタ 埼玉県三郷市
- 38 12月19日 大阪府立住吉支援学校
- 39 12月20日 和泉幸生会グループホームともに 和泉市

(2) 防災ネットワーク活動

①小中学校での人権学習

毎年大阪市立啓発小学校(むくのき学園)からの要請を受け、生徒さんに向けた防災学習を行っています。今年は事務局阿部の都合が悪く、「おおさか行動する障害者応援センター」のお二人で人権学習・被災体験、防災についての学習を行いました。

②BCP研究会への協力

BCP(大規模災害時における事業継続計画)研究会は引き続き、大阪府内の福祉サービス事業所等と協力して取り組みを進めてきました。

2021年、厚生労働省で福祉サービス事業所での「BCP策定計画(3年以内に策定すること)」が義務化されました。昨年は研修と訓練が義務付けとなったことを受け、内容などについて協議しました。

③ おおさか防災ネットワーク(略称:OSN)への参加

2024年も引き続きOSNの世話役団体として会議・防災訓練等に参加してきました。OSNは2021年から大阪府、大阪府社会福祉協議会と三者連携に関する協定を結び年2回の会議を開催しています。2024年度は内閣府の官民連携事業の助成を受け、市町村単位での行政、社協、民間団体の三者連携について大阪府内4か所での聞き取り調査などをしました。ゆめ風基金は大阪ボランティア協会とともに要援護者部会も立ち上げていて、部会での学習会も行いました。

(3) いのちと防災を考える中学生プロジェクト「おおさか行動する障害者応援センター」との協働事業

2024年度も引き続き大阪市立柴島中学校、摂津市立第2中学校でプロジェクトを行いました。車いすの障害者や盲ろう者、知的障害者20数名での取り組みとなりました。

2024年度中学生プロジェクトの開催実施は以下のとおりです。

- ・11月5日(水) 柴島中学 事前学習
- ・11月8日(金) 柴島中学 避難訓練(避難訓練終了後、○×クイズで訓練を振り返った)
- ・12月3日(火) 摂津第2中学校
避難訓練の事前学習(教室で盲ろうの方と、車椅子の扱い方の説明。)
- ・12月6日(金) 摂津第2中学校 避難訓練(NHKバリバラの取材撮影が入り、番組で紹介されました。)

(4) 障害者市民防災活動助成事業

2024年度は3件の申請があり、以下の3の団体に助成しました。

①デフノバ（大阪市）

「きこえない子どもたちと考える防災」の開催…96,100 円

現状、聴覚障害者が被災した際に、本人たちも周囲の人たちも何が必要なのかがわからない状態。きこえないということをどのように周囲に伝え、どのように命を守る行動をすべきなのか？

きこえる人には必要のない、きこえないからこそ必要な備えは何なのか？など、当事者を中心にきこえない子どもたちと一緒に考え、備えをしていくための企画の実施。

②特定非営利活動法人 共同連（名古屋市）

「共同連マラソントーク in 大阪 能登半島地震に学ぶNo.2」の開催…100,000 円

能登半島地震の被災地より現地からの報告と、ゆめ風基金から現地視察の報告を受け、参加者が今後の防災の取り組みに大切なものを学び合う企画。障害ある者ない者が共に働く現場において、被災地より学び、今後の対策につなぐ企画。

③小児在宅医療サポートボランティア はぴこねくと（つくばみらい市）

「医療的ケア児者を地域で支える防災プロジェクト『防災コネクト』」の開催（2025年4月開催予定）…100,000 円

各自治体に令和3年に災害時個別避難計画の策定が努力義務化され、さらに医療的ケア児支援法が同年9月から施行されたことで、医療的ケア児の災害時対策も注目を浴びるようになった。

医療的ケア児等の個別避難計画の策定には多職種の連携が必要であり、また実際に避難をする場合は、地域の方々の協力も必要とされる。

今回、ステップアップ研修としてボランティア登録した地域住民と医療的ケア児者、その家族の繋がりを深め、共に避難所生活を乗り越えていくためのより実践的な学びの場を設け、避難所での食事に焦点を当てた災害時の嚥下調整食の研修を行う。

（5）障害者防災にかかわる物品広報・販売

*DVD「逃げ遅れる人々」（2013年2月東京救援本部制作）販売 1本

（2019年12本、2020年2本、2021年0本、2022年2本、2023年3本）

*中学生プロジェクトDVD（2018年3月制作）12本販売

（2018年161本販売 101本進呈、2019年77本販売 6本進呈、2020年14本、2021年7本、

2022年11本それぞれ販売、2023年11本販売、6本進呈）

*SOSにこたえたい！熊本地震2016～2017年報告冊子 3冊販売

（2018年219冊、2019年83冊、2020年1冊、2021年37冊、2022年4冊、2023年6冊）

*大地震後、私たちはこうして生きてきた（能登地震で被害にあった23の事業所の発災時の様子をまとめたもの。ひまわり教室作成）646冊販売 57冊進呈

3. 被災障害者支援を広く訴える活動

（1）ニュースレター「ゆめごよみ風だより」（B5判8～16ページ）を季刊発行し、支援関係者、関係機関・団体に被災地発、障害者発の情報を届けました。発送先は1万3995人（※昨年より17人増）となりました。発行部数は1万5千部となります。2021年より、1月は寄付をいただいた人だけに臨時号を送付することとしました。それにより、これまで1月に発行していた全会員対象の機関誌は3月に発行

することとなり、発行は1月（臨時号）、3月、6月、9月、12月の5回となりました。

（2）主催・共催事業

①「カタログハウスの学校」と一緒に続けてきた「ゆめ風であいましょう」を2024年12月6日に東京都練馬区のCoconeriホールで開催しました。今回は、東京新聞記者であり、アーカタイムズ編集者の望月衣塑子さんをお招きし「能登半島地震であらわになったこの国のあやうさ。」をテーマにお話しいただきました。

②11月23日に毎年続けてきたポジティブ生活文化交流祭が童夢 KANSAI フェスティバルと名称を改めるとともに実行委員も新たになりました。今回も天候には恵まれ長居公園での開催で、能登の2か所の団体からも参加されました。昨年から大阪プロレスの協力もいただき、大阪市従業員組合公園支部も金券を準備して参加されるなど、大いに盛り上がりました。

（3）各種メディアに情報発信

「救援活動」、「防災活動」、「ゆめ風基金の活動」、などについて発信しました。

4. 情報の収集、関係諸機関、団体との協力及び連絡調整事業

引き続き関係諸機関、団体との連絡調整活動を行いました。

●主な関係団体（委員・役員就任ないしは協働関係）

DPI日本会議、全国自立生活センター協議会、障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議、共同連、関西障害者定期刊行物協会、被災地NGO協働センター、おおさか災害支援ネットワーク、東淀川区インクルーシブ教育研究会、BCP研究会、大阪ボランティア協会、大阪府教職員組合、大阪市職員労働組合、大阪市従業員労働組合 他のみなさま

5. その他目的を達成するために必要な活動

（1）シングルCD「ゆめ風応援歌」の販売

2022、2023年と販売なし（2015年38枚、2016年29枚、2017年21枚、2018年3枚、2019年2枚、2021年1枚、2022・2023年0枚）。

（2）近畿ろうきん提携融資制度「ゆめのたね」実施

2024年度ゆめのたねの申請-推薦は1件でした。

団体名：特定非営利活動法人 れじりえんす（大阪府堺市）融資金額：500万円

事業内容：障害者・高齢者への介護派遣事業

（特非）れじりえんすは、高次脳機能障害のメンバーが中心となり、個々の個性を生かし積極的な社会参加を目指し、当事者会の開催などを通し、地域での啓蒙活動を続けてきた。

活動を続ける中でメンバーの家族の高齢化等の課題もあり、今までではインフォーマルな支援としてボランティア的な活動を続けてきたが、今後は、高次脳機能障害の当事者メンバーがヘルパーとして従事

し、安定した運営を続けるために訪問介護事業、障害福サービス事業をスタートされた。この様な設立ケースは全国的にも数少ないと思われる。

高次脳機能障害の当事者が障害の有無に関わらずヘルパーとしての職務に従事することで、安心してサービスを受けられる利用者も一定数あると思われる。ひいては相互扶助の精神で共生社会の重要な社会資源の一つとして活躍することを期待し、推薦することとした。

(3) 「ゆめ風ネットワーク」と「ゆめ風応援団」

全国 39 の障害者団体がゆめ風ネットとして、災害時の窓口を引き受けてくださって、大変心強い存在です。また、2024 年度も「ゆめ風応援団」として全国の団体に災害時に協力いただくことを要請しましたが、その数は 72 団体となっています。

2024 年は能登半島地震がありネット会員である金沢市のひまわり教室の皆さんに尽力いただきました。

6. 会員構成と会議の記録

①会員の構成

運営会員： 15 個人、 39 団体

通信発送会員： 13,995 人

(2023 年 13,978 人、 2022 年 14,341 人、 2021 年 14,641 人、 2020 年 14,866 人)

領収書発行数：2025 年 1 月 15 日 3246 人（2024 年度に寄付をいただいた方への領収証）

(2024 年 1875 人、 2023 年 2088 人 2022 年 2285 人 2021 年 1 月 2526 人、)

②会議

第 23 回定時総会を 3 月 16 日新大阪丸ビル別館で行いました。（総会当日には金沢市のひまわり教室の林さんに来ていただき能登半島地震の報告を受けました。翌日には同教室の徳田さんに来ていただき能登半島地震の報告会を開催しました。）

2024 年も ZOOM を利用しての総会となりました。2023 年度事業報告、決算の承認及び 2024 年度活動計画、予算が確認されると同時に役員改選を行い、理事はそのまま引き継がれました。

* 参加者：理事 14 名中、 13 名出席。

ゆめ風ネット：39 団体中、現地出席 3 団体、 ZOOM 出席 6 団体、委任 18 団体。

●2024 年度は 12 回の理事会を行いました。内容は以下の通りです。

第 1 回 理事会 2024 年 1 月 15 日（月） 15:00～ 於 ゆめ風基金事務所

理事：14 名中、 13 名出席

第 1 号議案 令和 6 年能登半島地震への支援について

その他 臨時号の郵便振替挟み込みについて

第 2 回 理事会 2024 年 2 月 21 日（水） 16:00～ 於 ゆめ風基金事務所

理事：14 名中、 12 名出席

第 1 号議案 2023 年度事業報告

第 2 号議案 2023 年度決算報告

第 3 号議案 救援金の申請について

石川バリアフリーツアーセンターからの申請について

第 4 号議案 能登半島地震支援について

その他

総会について

ゆめのたね（姫路自立生活支援センター）について

第3回理事会 2024年3月16日（土）17:00～ 於 新大阪丸ビル別館

理事：14名中、13名出席

第1号議案 代表理事の選定について

第2号議案 副代表理事の選定について

第4回 理事会 2024年3月21日（水）10:00～ 於 ゆめ風基金事務所

理事：14名中、13名出席

第1号議案 能登半島地震への救援金について

合同会社 Vivir（児童ホームあだぶと）からの申請について

特定非営利活動法人あすなろふたばぱいんの会からの申請について

第2号議案 ガザ地区の障害者支援について

第3号議案 障害者市民防災助成について

デフノバからの申請について

その他

今後の救援金申請の審議について

ゆめ風設立30年事業について

第5回 理事会 2024年4月24日（水）16:00～ 於 ゆめ風基金事務所

理事：14名中、11名出席

第1号議案 能登半島地震への救援金について

特定非営利活動法人 スペース Beからの申請について

(特非)七尾鹿島手をつなぐ育成会「ほうぶ子どもの家」からの申請について

一般社団法人ともえからの申請について

(社福)徳充会 青山彩光苑 穴水彩光苑ライフサポートセンターからの申請について

合同会社ポップラからの申請について

その他

社会福祉法人 磯会への支援について(送金済み)

能登半島支援について（職員不足の対応について）

ゆめ風設立30年事業について

第6回 理事会 2024年6月3日（月）16:00～ 於 ゆめ風基金事務所

理事：14名中、12名出席

第1号議案 能登半島地震への救援金について

NPO法人夢かぼちゃからの申請について

社会福祉法人野の花福祉会からの申請について

第2号議案 台湾地震への救援金について

社団法人花蓮県康復之友協会からの申請について

その他

ガザ支援の報告について 6/13（木）ゆめ風基金主催で報告会開催

ゆめ風設立30年事業について

JDFの能登拠点支援について

災害用トイレの購入について

第7回 理事会 2024年7月8日（月）16:00～ 於 ゆめ風基金事務所

理事：14名中、12名出席

第1号議案 能登半島地震への救援金について

石川バリアフリーツアーセンターからの申請について

第2号議案 ガザ支援について

その他

JDFの能登拠点支援について

能登地震支援について

ひまわり教室への支援について

第8回 理事会 2024年8月6日(火) 16:00~ 於 ゆめ風基金事務所

理事:14名中、11名出席

第1号議案 能登半島地震への救援金について

夢かぼちゃへの支援について(2件)

NPO法人いきいきの支援について

ほうぶ子どもの家からの助成金について

第2号議案 障害者市民防災助成について

デフノバからの支援について(再申請)

その他

今後の能登支援について

台湾地震、ガザ支援について

第9回 理事会 2024年9月12日(木) 16:00~ 於 ゆめ風基金事務所

理事:14名中、12名出席

第1号議案 能登半島地震への救援金について

七尾中能登就労支援センターからの申請について

(一社)つながりからの申請について

第2号議案 障害者市民防災助成について

デフノバへの支援について(再協議)

共同連からの申請について

第10回 理事会 2024年9月27日(金) 16:00~ 於 ゆめ風基金事務所

理事:13名中、12名出席

第1号議案 能登半島地震への救援金について

(一社)つながりからの申請について

第2号議案 能登半島豪雨について

第11回 理事会 議案書 2024年11月25日(月) 16:00~ 於 ゆめ風基金事務所

理事:13名中、12名出席

第1号議案 能登半島豪雨への見舞金について

第2号議案 能登半島地震の救援金について

夢かぼちゃへの支援について

第3号議案 タイの災害支援について

ヒーリングファミリー財団への支援について

第4号議案 障害者市民防災助成について

はぴこねくとからの助成について

第12回 理事会 2024年12月17日(火) 16:00~ 於 ゆめ風事務所

理事:13名中、12名出席

第1号議案 能登半島地震救援金について

豪雨見舞金について

夢かぼちゃの移送支援について

NPO法人 千種の舎からの申請について

第2号議案 ゆめのたねについて

れじりえんすからへの申請について

第3号議案 2024年度補正予算について

第4号議案 2025年度活動計画について

第5号議案 2025年度活動予算について

その他報告事項等

30周年事業について

リーフレットについて

2024年度活動決算 別冊